

P=ポイント

国	内	県	内
4日	日経平均株価(225種)、史上初の4万円台 東京株式市場で、日経平均株価(225種)が史上初めて4万円を超え、終値は4万109円23銭だった。AIの将来需要を見込んだ半導体関連株の値上がり相場を牽引。	1日	2021年度県民所得240万9,000円、4年ぶり増加 県が公表した県民経済計算によると、2021年度の1人当たり県民所得は前年度比4.6%増の240万9,000円で、4年ぶりの増加。企業の生産活動が持ち直したことが要因。
8日	2024年2月の全国企業倒産712件 東京商工リサーチによると、2024年2月の全国企業倒産(負債額1千万円以上)は、件数が前年同月比23%増の712件、負債総額は1,395億9,600万円だった。2月に700件台となるのは2016年以来8年ぶり。	1日	東九州道、「南郷～奈留」新規事業採択時評価手続き開始 国土交通省は東九州自動車道「南郷～奈留」間について、新規事業採択時評価手続きに着手すると発表。同区間が事業化されれば、未開通区間が全て事業化され、全線開通に大きく前進。
8日	2024年1月家計調査6.3%減、11カ月連続マイナス 2024年1月の家計調査で、1世帯当たりの消費支出は28万9,467円、物価変動の影響を除いた実質で前年同月比6.3%減少と11カ月連続のマイナス。	6日	日銀宮崎事務所、県内景気「緩やかに回復」 日銀宮崎事務所は県内の景気判断を「緩やかに回復している」として、前回発表(2月)から据え置いた。個人消費や観光など個別の項目も前回判断を維持。
8日	2024年2月景気ウォッチャー調査、先行き上向く 2024年2月の景気ウォッチャー調査は、先行き判断DI(季節調整値)が先月差0.5P上昇の53.0となった。雇用関連DIが低下したものの、家計動向関連DIと企業動向関連DIが上昇。	8日	「日本のひなた宮崎県フェア in 羽田空港」開催 羽田空港第1ターミナル2階「羽田産直館」とマーケットプレイスイベントスペースにおいて「日本のひなた宮崎県フェア in 羽田空港」が開催された。県内の特産品の販売や観光情報を紹介し、本県の魅力をPR。
11日	2023年10～12月GDP、年率0.4%増の上方修正 2023年10～12月期の国内総生産(GDP)改定値は、物価変動の影響を除いた実質の季節調整値が前期比0.1%増加、年率でも0.4%増加。設備投資の速報値が上振れしたことなどが寄与。	15日	2022年市町村別農業産出額 都城市4年連続日本一 2022年市町村別農業産出額(推計)によると、都城市が過去最高の約911億円で、4年連続日本一。品目別では豚、肉用牛が1位で、畜産部門が今年も牽引。
19日	日銀、マイナス金利政策解除 日銀は金融政策決定会合で、マイナス金利政策の解除を決定。政策金利を0～0.1%程度に引き上げるほか、上場投資信託(ETF)およびJ-REITの新規購入も終了。	20日	油津港 ファーストポートとして初寄港 外国クルーズ船が日本で最初に寄港する「ファーストポート」として、油津港にドイツのクルーズ船「オイローパ」が初寄港。県によると、検疫港以外での受入は国内初。
19日	2024年2月の訪日外客数278万人、同月として過去最高 日本政府観光局(JNTO)によると、2024年2月の訪日外客数は278万8,000人となり、前年同月比89.0%増加。またコロナ禍前の2019年同月比では7.1%増加で同月としては過去最高。	25日	本県推計人口、2024年3月1日現在103万7,355人 本県の2024年3月1日時点の推計人口は103万7,355人で、前月比794人減少。世帯数は47万2,985世帯で、前月比106世帯減少。市町村別の前年同月比では、都城市が唯一、人口が増加。
21日	2023年末の家計金融資産、2,141兆円で過去最高 2023年10～12月期の資金循環統計(速報)によると、12月末の家計の金融資産は前年同期比5.1%増加の2,141兆円で、5四半期連続で過去最高を更新。株式や投資信託が残高を押し上げた。	26日	公示価格、県内住宅地25年ぶり上昇 国土交通省によると公示地価(2024年1月1日時点)で、県内の平均変動率は住宅地が前年比プラス0.1%で25年ぶりに上昇。商業地はマイナス0.3%と33年連続で下落するも下落率は0.4P縮小。
22日	消費者物価指数(生鮮食品を除く)2.8%上昇 2024年2月の消費者物価指数(CPI、2020年=100)は生鮮食品を除く総合指数が106.5となり、前年同月比で2.8%上昇。伸び率は4カ月ぶりに拡大。	28日	宮崎市、焼酎購入数量および支出金額3位 総務省の2023年の家計調査報告(2人以上世帯)によると、焼酎の購入数量および支出金額で宮崎市が、全国3位。1位はいずれも鹿児島市、2位は大分市。